

茨城運輸支局バリアフリーネットワーク会議

開催概要

＜主催：関東運輸局茨城運輸支局＞

- 日時：平成28年12月2日（金）14:00～16:00
- 場所：茨城県開発公社ビル 1-E会議室
- 講演：茨城県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 御代川栄子氏
- 議事・水戸市におけるバリアフリーの取り組み
（水戸市市長公室交通政策課）
 - ・国のバリアフリーの取り組み
 - ・意見交換

委 員

（敬称略）

- ＜座長＞山田 稔（茨城大学工学部都市システム工学科 教授）
- 御代川 栄子（茨城県肢体不自由児者父母の会連合会 副会長）
 - 藤枝 文江（社会福祉法人 茨城県視覚障害者協会 理事）
 - 吉沢 馨（一般社団法人 茨城県聴覚障害者協会 副会長）
 - 郡司 征樹（一般社団法人 茨城県心身障害者福祉協会 理事）
 - 渡邊 隆（一般社団法人 茨城県精神保健福祉会連合会 理事）
 - 市毛 尚美（茨城LD等発達障害親の会 星の子）
 - 有賀 絵理（茨城大学非常勤講師）
 - 高松 志津夫（NPO法人ウィーブ 北茨城代表・地域公共交通マイスター）

参画（委員以外）

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道株式会社水戸支社、関東鉄道株式会社、鹿島臨海鉄道株式会社、茨城交通株式会社、関鉄グリーンバス株式会社、ジェイアールバス関東株式会社水戸支店、茨城急行自動車株式会社、朝日自動車株式会社、一般社団法人茨城県バス協会、【関係行政機関等】茨城県、茨城県警察本部、水戸市、小美玉市、笠間市、茨城町、大洗町、古河市、結城市、常総市、坂東市、桜川市、五霞町、独立行政法人自動車事故対策機構茨城支所 【その他】関東地方整備局、常陸河川国道事務所、関東運輸局、茨城運輸支局

講 演

【茨城県肢体不自由児父母の会連合会 会長 御代川 栄子 氏】「＜講演題目＞障害のある人の幸せを目指して」

バリアフリーの取り組み等

【水戸市】「水戸市におけるバリアフリーの取組み」

バリアフリー基本構想を平成16年に策定。水戸駅周辺地区を重点整備地区とする、＜主な整備内容＞駅舎の移動円滑化、バス停の改善、ノンステップバスの導入、道路のバリアフリー化など。平成28年7月、水戸市バリアフリー環境整備推進協議会を設立。バリアフリー新法に基づく新たなバリアフリー基本構想策定に向け議論を開始した。平成28年度中の策定を目指す。

会議での発言（委員より）

- ・交通事業者毎にバリアフリー研修等されていると思うがマニュアル+αの動きが欲しい。+αの部分がこころのバリアフリーに繋がる。
- ・近年、高齢者・視覚障害者の電車ホームからの転落事故が増えている。ホームドアの整備や駅員への注意喚起が必要かと思うが乗客（利用客）にも何か役割を担ってもらったほうがいい。
- ・ハードのバリアフリーよりもこころのバリアフリーを重点的に推進していただきたい。バリアフリー教室も精神障害とはどのような病気なのか 理解してもらえるような内容にしてほしい。
- ・サイン（ピクトグラム）の普及が進んできて直感的にわかるように工夫されてきている。視覚に訴えるサインを活用することで小さなお子さんや高齢者、言葉のわからない外国人の方にも非常に有効だと思う。
- ・乳児用のおむつ交換台は多いが大人用は少ない。高齢化社会で利用が増えると予想されるので今後も整備を進めてほしい。
- ・発達障害者は障害者手帳を取得するとすると精神保健福祉手帳になる。バス会社のご厚意により割引してもらっているが手帳を見せると運転手によっては面倒くさがる人がある。運転手の教育をよろしくお願いいたします。
- ・点字ブロックの敷設は視覚障害者も立ち合わせ意見を聞いてほしい。
- ・タクシーに乗車したときのコミュニケーション用に筆談器具を用意してほしい。



栃木運輸支局バリアフリーネットワーク会議

開催概要

＜主催：関東運輸局栃木運輸支局＞

○日時：平成28年12月9日（金）14:00～16:00

○場所：栃木県庁舎北別館402号会議室

○講演：宇都宮大学教育学部 長谷川 万由美 教授

○報告：バリアフリーの取り組みについて

- ・国の取り組みについて（関東運輸局、関東地方整備局）
- ・地方公共団体の取り組みについて（栃木市）

○意見交換

委員

＜座長＞大森 宣暁（宇都宮大学地域デザイン科学部 教授）（敬称略）

長谷川 万由美（宇都宮大学教育学部 教授）

麦倉 仁巳（一般財団法人 栃木県身体障害者福祉会 会長）

石田 セツ子（一般社団法人 栃木県視覚障害者福祉協会 副会長）

喜井 寛（一般社団法人 栃木県聴覚障害者協会 理事）

束原 勸（一般財団法人 栃木県老人クラブ連合会 副会長）

鈴木 勇二（一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会）

坂本 紀夫（栃木県精神保健福祉会 理事）

植村 文恵（栃木県自閉症協会 副会長）

参画(委員以外)

【施設設置管理者等】東武鉄道株式会社、関東自動車株式会社、東野交通株式会社、ジェイアールバス関東株式会社、アサヒタクシー株式会社、一般社団法人栃木県バス協会、一般社団法人栃木県タクシー協会【関係行政機関】栃木県、栃木県警察本部、宇都宮市、鹿沼市、真岡市、上三川町、益子町、芳賀町、高根沢町、日光市、那須塩原市、大田原市、さくら市、那須烏山市、那須町、塩谷町、那珂川町、足利市、栃木市、小山市、壬生町【その他】関東地方整備局、宇都宮国道事務所、関東運輸局

講演

【宇都宮大学教育学部教授 長谷川 万由美 氏】「＜講演題目＞ 公共空間におけるサインとマーク ―学生を対象とした調査結果からの考察」（シンボルマークの認知度の調査、調査結果、結果からの考察、他）

バリアフリーの取り組み等

【栃木市建設水道部道路河川整備課】「栃木市バリアフリー基本構想」（概要）

- ①基本構想の策定に至るまでの取り組み。
- ②バリアフリー化の3つの基本方針。
- ③重点整備地区の設定。
- ④バリアフリー化の事業内容。
- ⑤今後のバリアフリー化の取り組みについて。

会議での発言（委員より）

- ・視覚障害者が電車に乗車する際に、ホームから転落する事故が多く発生している。転落事故の防止の観点からホームドアの設置をすすめて欲しい。
- ・建物にスロープを設置するのはいいが、スロープの角度によっては不便に感じることもある。設置の際には、利用者にも意見を求めるべきである。
- ・電車の遅延に際し、聴覚障害者では、案内放送を聞くことができない。ホーム等に電光掲示板を設置して案内をしてほしい。
- ・トイレの流すボタンの位置の高さを統一してほしい。
- ・公共施設にあるマークの意味をもっと分かりやすいものにしてほしい。
- ・マークを作成する際には、利用者の意見をもっと取り入れるべきである。



群馬運輸支局バリアフリーネットワーク会議

開催概要

＜主催：関東運輸局群馬運輸支局＞

- 日時：平成28年11月21日（月）14:00～16:10
○場所：群馬県社会福祉総合センター 203会議室
○議題：国のバリアフリーの取り組み（関東運輸局、群馬運輸支局）
無人鉄軌道駅におけるバリアフリーの取組について
（東日本旅客鉄道株式会社高崎支社、東武鉄道株式会社、
わたらせ渓谷鐵道株式会社、上信電鉄株式会社、
上毛電気鉄道株式会社）
意見交換
○講演：群馬県自閉症協会事務局 山田 智子 氏

委 員

（敬称略）

- ＜座長＞湯沢 昭（公立大学法人前橋工科大学名誉教授）
中越 信一（社会福祉法人群馬県社会福祉協議会参事兼地域福祉課長）
吉原 孝治（一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟事務局長）
金子 武夫（公益社団法人群馬県視覚障害者福祉協会会長）
阿久澤 友実（公益社団法人群馬県知的障害者福祉協会副会長）
磯田 文男（一般財団法人群馬県老人クラブ連合会常務理事兼事務局長）
渡辺 辰雄（公益社団法人群馬県身体障害者福祉団体連合会常務理事兼事務局長）
上野 勝征（特定非営利活動法人群馬県精神障害者社会復帰協議会理事）
山田 智子（群馬県自閉症協会事務局）

参画（委員以外）

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道株式会社高崎支社、東武鉄道株式会社、わたらせ渓谷鐵道株式会社、上信電鉄株式会社、上毛電気鉄道株式会社、一般社団法人群馬県バス協会、一般社団法人群馬県タクシー協会
【関係行政機関】群馬県、群馬県警察本部、前橋市、高崎市、伊勢崎市、渋川市、太田市、館林市、群馬県市町村教育委員会連絡協議会 【その他】関東地方整備局、関東運輸局

講 演

【群馬県自閉症協会事務局 臨床発達心理士 山田 智子氏】「＜講演題目＞自閉症でOK！～共生社会実現への願い～」

バリアフリーの取り組み等

- 【東日本旅客鉄道】サービス介助士の養成を推進（高崎支社で約470名）、名札等で周知活動実施。声かけサポート運動を実施。無人駅においても内方線点状ブロック、放送設備、LED文字情報等の順次導入を予定しており、今後、状況が整った駅から整備を進めていく。
【東武鉄道】全駅に点状ブロック、通信設備を設置。無人駅への職員派遣・巡回、事前連絡があればお待たせせずに対応可。
【わたらせ渓谷鐵道】平成28年2月に全従業員を対象に介助講習を行った。無人駅では沿線住民（市民協議会）による助け合い活動。
【上信電鉄】無人駅への職員派遣、乗り方ガイドの作成、「無人駅連絡防犯員」による声かけ等を行っている。
【上毛電気鉄道】全駅にスロープ、主要駅に点状ブロックを設置。今後、利用者のニーズを見ながら極力対応できるものについては実施していく。



会議での発言（委員より）

- ・聴覚障害者のように、外見では分からない障害もあることを理解してほしい。交通機関におけるトラブル発生時、音声放送だけだと状況の変化（行き先、乗換情報等）が分からない。バリアフリー教室においても聴覚障害に理解を深める体験を取り上げるなどして、心のバリアフリーを一層推進してほしい。
- ・視覚障害者のホーム転落事故に一番効果があるのはホームドアの全駅設置ではあるが、資金面でそこまで望めないことは理解している。次の策として、内方線付き点状ブロックの設置を進めてもらいたい。また道路の整備状況にもよるが、エスコートゾーンの設置も順次進めてもらいたい。
- ・今まで「障害者」というと、外見で分かる障害を持っている方へのケアが中心だった。これからは外見で分からない障害を持った方への配慮も、公共交通機関の方で取り組んでもらえたらと思う。
- ・知的障害者、発達障害者等は、抽象的な表示ではなく、行動に直接繋がる表示（絵など）の方が理解しやすい。
- ・小中学校からメンタルヘルスへの理解を促す教育を実施してもらいたい。早期受診が早期発見につながり、重症化防止に効果がある。
- ・非常時の対応について。障害ごとにどのような困り感があるのか想定して行政・事業者は対応をしてほしい。
- ・バリアフリーについては、明日からすぐ変わるものではないことから、継続的に改善に取り組んでいただきたい。
- ・障害者手帳の統一化と、旅客運賃の割引対象拡大の検討をお願いしたい。

埼玉運輸支局バリアフリーネットワーク会議

開催概要

<主催：関東運輸局埼玉運輸支局>

- 日時：平成28年11月7日（月）10：00～12：00
○場所：岩槻駅東口コミュニティセンター多目的ルームC
（さいたま市）
○議事：バリアフリー化推進に関する取り組みについて
・バリアフリーの現状と関東運輸局の取り組み
・関東地方整備局のバリアフリーの取り組み
○意見交換

委員

（敬称略）

- <座長>高橋 儀平（東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科教授）
山田 智恵子（公益社団法人埼玉県手をつなぐ育成会理事）
宮城 正（埼玉県視覚障害者福祉協会会長）
傳田 ひろみ（障害者の自立と政治参加を進めるネットワーク代表）
浅見 典子（公益社団法人やどかりの里常務理事）
大内 伸一（一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会事務局長）
矢崎 弘美（埼玉親の会『麦』事務局）

参画（委員以外）

【施設設置管理者等】東武鉄道株式会社、国際興業株式会社、朝日自動車株式会社、株式会社つばめタクシー、第三交通株式会社、一般社団法人埼玉県バス協会、一般社団法人埼玉県乗用自動車協会【関係行政機関】埼玉県、さいたま市、熊谷市、川口市、久喜市、
【その他】関東地方整備局、関東運輸局

バリアフリーの取り組み等

【東武鉄道株式会社】

埼玉県内では昨年度、南羽生駅、和戸駅についてエレベータ及び多機能トイレを設置した。
ホームドアについては川越駅については導入済みで和光市駅については導入中であり今後も随時導入していく。
現在は大規模駅に事故情報等をアナウンスするモニターを設置しているが、今後も随時導入していく。

【株式会社つばめタクシー】

UDタクシーについて毎年1台ずつ導入しており計3台保有しており、今後も増やしていく計画。

会議での発言（委員より）

- ・車イス使用者は基本的にスロープを利用して電車に乗り込む際に駅員の補助が必要なため無人駅や駅員の少人数駅は不便。
- ・事故を未然に防ぐ意味でもホームドアの設置を推進してほしい。
- ・全ての交通モードで交通系ICカードが使用出来るようにしてほしい。
- ・高速バスの休憩時間について聴覚障害者には車内アナウンスが聞こえないので何分休みなのか分からない。乗務員も休憩しており確認が出来ないため満足に休憩が出来ないので視覚的に認識出来る方法も考慮してほしい。
- ・鉄道で事故等により電車が止まった時、放送では聴覚障害者は聞こえない。案内表示や電光掲示板を多く設置して情報を知らせてほしい。



千葉運輸支局バリアフリーネットワーク会議

開催概要

<主催：関東運輸局千葉運輸支局>

- 日時：平成28年11月25日（金）10:00～12:20
- 場所：日本大学 理工学部（船橋キャンパス）
- 基調講演：日本大学理工学部教授 藤井 敬宏 氏
- 特別講演：習志野市聴覚障害者協会 理事 柏木 信博 氏
- 議事（1）バリアフリーに関する取り組みについて
 - ・バリアフリーに関する事例紹介（交通事業者、同協会）
 - ・国のバリアフリーの取り組みについて（整備局・運輸局）
- （2）意見交換

委 員

（敬称略）

<座長>

- | | |
|----|-----------------------------|
| 藤井 | 敬宏（日本大学理工学部教授） |
| 荒川 | 信一（船橋市身体障害者福祉会 会長） |
| 古山 | 日出男（公益社団法人千葉県視覚障害者福祉協会 副会長） |
| 柏木 | 信博（習志野市聴覚障害者協会 理事） |
| 好村 | 肇（船橋市手をつなぐ育成会 会長） |
| 佐藤 | 彰（千葉県自閉症協会 理事） |
| 野村 | 勝（船橋市ヒラソール会 会長） |



参画（委員以外）

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道（株）千葉支社、京成電鉄（株）、（株）舞浜リゾートライン、船橋新京成バス（株）、京成バス（株）、東洋バス（株）、（有）武藤自動車、（一社）日本民営鉄道協会、（一社）千葉県バス協会、（一社）千葉県タクシー協会
【関係行政機関】千葉県、印西市、市川市、鎌ヶ谷市、習志野市、船橋市、八千代市、千葉県警察本部 【その他】関東地方整備局、関東運輸局

講 演

【日本大学理工学部教授 藤井 敬宏 氏】「<基調講演>バリアフリーに向けた継続的な自治体の取り組みと更なる気づきへのアプローチ」
【社会福祉法人 習志野市聴覚障害者協会理事 柏木 信博 氏】「<特別講演>見える世界とコミュニケーション」



バリアフリーの取り組み等

- 【JR東日本(株)千葉支社】バリアフリー新法の対象駅（1日乗降3,000人以上）84駅中77駅が段差解消（整備率は92%）。2005年以降、「サービス介助士（ケアフィッター）2級」の取得を推進。「声かけ・サポート」運動の実施、他。
- 【船橋新京成バス(株)】バス車両のバリアフリー化、及び従業員に対するバリアフリー介助者体験や接客接遇研修の実施、他。
- 【タクシー協会（武藤自動車）】福祉車両の導入状況、「妊婦・子育てタクシー」「障害者のタクシー旅行」「タクシー体験交流」等の説明、他。

会議での発言（委員より）

- ・コンビニエンスストアの出入口について、手動扉だと車椅子や松葉杖を使用している者にとってはバリアになっているので、自動ドア化を望む。併せて、店内の通路をもっと拡張し、トイレのバリアフリー化を望む。これから改装する店舗は、初めからバリアフリー仕様にして頂きたい。
- ・交差点に歩道橋が架かると、それまであった横断歩道は撤去されてしまう。できればエレベーターを設置して頂きたい。
- ・視覚障害者にとって駅のホームは「柵のない橋」に喩えられるように非常に危険。ホームドア設置等は非常に高額で鉄道事業者だけで対処することは困難。国土交通省には鉄道事業者や自治体と連携、及び自治体を指導する等して転落事故防止のための対策を推進して頂きたい。
- ・最近、鉄道事業者が配慮の必要な旅客に対して「声かけ・サポート運動」を実施しているが、これに倣って一般の人達も困っている障害者を見かけたら積極的に声をかけてサポートするような社会になることを願っている。
- ・知的障害者は周囲から冷たい目で見られる。非常に抵抗感があるので心のバリアフリーを向上させ、温かい目で見守って頂きたい。
- ・自閉症者は、ひとり一人がとても強いこだわりを持っており、一般の人達に理解され辛い。その特性を理解するため、駅員等交通機関の関係者への研修機会を増やし、心のバリアフリーの更なる向上を望む。
- ・最近、マスクをしているバスやタクシーの運転者が多いが、聴覚障害者にとっては相手の口の動きが読めずコミュニケーションがとれない。せめて聴覚障害者と話す時だけは、マスクを外して頂けると有り難い。



東京運輸支局バリアフリーネットワーク会議

開催概要

＜主催＞関東運輸局東京運輸支局＞

- 日時：平成28年11月28日（月）14:30～16:30
○場所：品川区立総合区民会館「きゅりあん」7階イベントホール
○議事（1）国のバリアフリーの現状と取り組みについて
- ・国からの報告（関東運輸局、関東地方整備局）
- （2）バリアフリーの現状及び取り組み等の発表
- ・公共交通機関における車いす等の単独利用方法について
 - ・鉄道駅のバリアフリー化に関する東京都の取り組みについて
 - ・都営交通におけるバリアフリーに関する取り組みについて
- （3）意見交換

委員

- ＜座長＞森本 章倫（早稲田大学 理工学術院 教授）（敬称略）
笹川 吉彦（公益社団法人東京都盲人福祉協会 会長）
有山 一博（一般社団法人東京都聴覚障害者総合支援機構
東京都聴覚障害者連盟 福祉対策部長）
高橋 景市（公益社団法人東京都老人クラブ連合会 副会長）
豎山 順子（社会福祉法人東京都知的障害者育成会 理事）
小西 慶一（公益社団法人東京都身体障害者団体連合会 会長）
美濃口 和之（一般社団法人東京精神保健福祉士協会）

参画（委員以外）

【施設設置管理者等】バス事業者16者、鉄道事業者9者 【関係協会】一般社団法人東京バス協会、一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
【関係行政機関】警視庁、東京都、区市町村26者、関東運輸局、関東地方整備局

講演等

【公益社団法人東京都身体障害者団体連合会 小西 慶一 氏】「＜題目＞公共交通機関における車いす等の単独利用方法について」

バリアフリーの取り組み等

- 【東京都都市整備局】「鉄道駅のバリアフリー化に関する東京都の取り組みについて」
（概要）都の実施する補助による鉄道駅へのホームドアの設置とエレベーター等の整備状況について
【東京都交通局】「都営交通におけるバリアフリーに関する取り組みについて」
（概要）都営4線全駅においてバリアフリー1ルート確保済み。ホームドアと内方線付き点字ブロックは2線全駅完了。平成28年度を初年度とする6か年経営計画により、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けてさらなるバリアフリー化に取り組む。



会議での発言（委員・鉄道事業者より）

声かけ（心のバリアフリー）

- ・日本人は障害者への「声かけ」に慣れていないので、心のバリアフリーには「インクルーシブ教育」が必要。
- ・知的障害者への「声かけ」の対応として、外見からはわからないことから、これらの者は「ヘルプマーク」を持っているので「ヘルプマーク」を示されたら「声かけ」をお願いしたい。

バリアフリーの好事例

- ・バスの運転手の車内事故防止教育が行き届き、高齢者に対する対応が大変良くなっていることに感謝。
- ・大江戸線では車両とホームのすき間が狭く、駅員の協力なしで車いすの乗り降りができ、行動範囲が広がった。
- ・東武鉄道の都内の無人駅は「大師前駅」のみ。ハード面は点字ブロックとインターフォンを設置。ソフト面では終日、警備員を配置している。
- ・東急電鉄では筆談機が入ったモバイルツールを試験導入して、連絡ミス等を無くすよう対策を実施。

その他の要望事項

- ・聴覚障害者に対する無人駅のバリアフリー化について、より一層の配慮が必要。特にモニターや遠隔手話通訳等の開発を要望。
- ・東京では精神科病床の分布に地域差がある。また、障害者には、IT化の進展に慣れていない場合が多く一定の配慮が必要。



神奈川運輸支局バリアフリーネットワーク会議

開催概要

＜主催：関東運輸局神奈川運輸支局＞

- 日時：平成28年11月28日（月）14:00～16:00
- 場所：神奈川県自動車交通共済共同組合 9階大会議室
- 講演：横浜国立大学理事・副学長 中村 文彦 氏
特定非営利活動法人神奈川県視覚障害者福祉協会
会長 鈴木 孝幸 氏
- 意見交換：講演、各委員からの意見・提案に関する意見交換
- 情報提供：整備局・運輸局のバリアフリーの取り組みについて

委 員

（敬称略）

- 中村 文彦（横浜国立大学 理事・副学長）〈座長〉
- 久保田 仁（公益財団法人横浜市老人クラブ連合会事務局次長）
- 戸井田愛子（公益財団法人神奈川県身体障害者連合会会長）
- 鈴木 孝幸（特定非営利活動法人神奈川県視覚障害者福祉協会 会長）
- 河原 雅浩（公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会 事務局長）
- 坂田 信子（横浜市心身障害児者を守る会連盟事務局長）
- 吉富 多美（認定特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド理事）
- 清水 弘子（特定非営利活動法人かながわ福祉移動サービスネットワーク理事長）

参画（委員以外）

- 【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道(株)横浜支社、相模鉄道(株)、京王電鉄(株)、湘南モノレール(株)、東京急行電鉄(株)、箱根登山鉄道(株)、横浜高速鉄道(株)、(株)横浜シーサイドライン、横浜市交通局高速鉄道本部・自動車本部、京浜急行バス(株)、神奈川中央交通(株)、川崎鶴見臨港バス(株)、箱根登山バス(株)、東急バス(株)、川崎市交通局、相鉄バス(株)、小田急バス(株)、江ノ島電鉄(株)、アサヒタクシー(株)、逗子菊池タクシー(株)、三和交通(株)、東宝タクシー(株)
- 【関係団体】一般社団法人神奈川県バス協会、一般社団法人神奈川県タクシー協会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部
- 【関係行政機関等】神奈川県、神奈川県警察本部、横浜市、川崎市、相模原市、茅ヶ崎市、平塚市、関東地方整備局、関東運輸局

講 演

- 【横浜国立大学 理事・副学長 中村 文彦 氏】「＜講演題目＞鉄道駅周辺地区のバリアフリーについて」
- 【特定非営利活動法人神奈川県視覚障害者福祉協会 会長 鈴木 孝幸 氏】「＜講演題目＞周辺環境及び鉄道駅のバリアフリー化」

バリアフリーの取り組み等

『福祉ニーズに応えるタクシー利用推進プロジェクト』

【共催】一般社団法人 神奈川県タクシー協会／特定非営利活動法人 かながわ福祉移動サービスネットワーク

【趣旨】UDタクシーの導入及びUDドライバー研修を実施しているが、知的障害児者への対応は十分な実績をつくるには至っていない。

障害当事者家族、事業者などとの意見交換を行い、中間支援組織が介在することでタクシー事業者の福祉対応への意識向上と、利用者が安心して利用できる環境整備に具体的に取り組んでいく。県立鶴見養護学校をモデルケースとして、県内に広げていく。

【取組】5月30日～6月10日に県立鶴見養護学校にてタクシーでの生徒の付き添いなしによる送迎の体験乗車を実施。その後、関係者による検討会、保護者などを交えた説明会を実施。本年12月中に利用者登録を開始し、来年1月より「付き添いなしで乗るタクシー」の運用開始。今後は、今回のモデル事業を検証しながら神奈川県全域で展開できるようにプロジェクトを推進していく。



会議での発言（委員より）

- ・鉄道等の運転手の方々の障害者への理解が浸透されてきており、親切な対応をしてくれる運転手が多くなってきている。
- ・電車の遅延、運転見合わせなどの情報の表示パネルが大型化して見やすくなった。一方で情報のバリアの解消（事故時の行き先変更もわからない等、文字情報の不足）がもっと必要。
- ・ホームドアは必要。聴覚障害者は音では判断できないので電車の発車や動き出すタイミングが分からないため危険である。
- ・無人で何かあった時の連絡方法がインターホンしかない駅が増えているが、聴覚障害者には利用出来ないため非常に困る。
- ・バス等の乗降方法をピクトグラムで分かりやすく示して欲しい。乗り慣れない地域のバスでは行き先の確認や運賃の支払い方法など、日本人でも判断が難しい事があるので、オリンピック、パラリンピックも控えている中で各社共通の案内の検討が必要ではないか。

山梨運輸支局バリアフリーネットワーク会議

開催概要

＜主催：関東運輸局山梨運輸支局＞

- 日時：平成28年11月25日（金）14:00～16:00
○場所：山梨県立男女共同参画推進センター 大研修室
○議事（1）バリアフリー化推進に関する取り組みについて
- ・バリアフリーの現状と関東運輸局の取り組みについて
 - ・関東地方整備局のバリアフリーの取り組み
 - ・障害者差別解消法について（山梨県福祉保健部障害福祉課）
 - ・【講演】山梨車いす生活者の会「ステップアップ」
元相談役 芦沢 茂夫氏
- （2）意見交換

委 員

（敬称略）

- ＜座長＞ 佐々木邦明（山梨大学大学院総合研究部工学域教授）
大木 勝蔵（一般社団法人山梨県老人クラブ連合会副会長）
芦沢 茂夫（山梨車いす生活者の会「ステップアップ」元相談役）
山西 孝（山梨県知的障害者支援協会会長）
矢崎 繁（一般社団法人山梨県視覚障がい者福祉協会副会長）
仁科加代子（一般社団法人山梨県聴覚障害者協会事務局長）
三浦 雅子（山梨県精神障害者家族会連合会相談役）
星合 深妃（NPO法人HappySpaceゆうゆうゆう理事長）

参画（委員以外）

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道株式会社八王子支社、富士急行株式会社、山梨交通株式会社、富士急山梨ハイヤー株式会社、一般社団法人山梨県バス協会、一般社団法人山梨県タクシー協会、株式会社富士レークホテル

【関係行政機関】山梨県、山梨県警察本部、甲府市、甲州市、山梨市、大月市、韮崎市、笛吹市、甲斐市、上野原市、南アルプス市、市川三郷町、鳴沢村、関東地方整備局、関東運輸局

講 演

【山梨車いす生活者の会「ステップアップ」元相談役 芦沢 茂夫 氏】「＜講演題目＞バリアフリー化事業の取り組みについて」

バリアフリーの取り組み等

○「障害者差別解消法について」（山梨県福祉保健部障害福祉課）

上記の簡単な概要と当該法の施行を受けて改正した山梨県障害者幸住条例の説明。特に「障害を理由とする差別の解消」が新たに定められ、「不当な差別的取扱いの禁止」の具体的類型として福祉・医療・教育・商品販売・サービス提供・雇用・建物、公共交通・不動産・情報、コミュニケーションの8つの分野を説明。また、「社会的障壁の除去のための合理的な配慮」の具体例を説明。

会議での発言（委員より）

- ・歩道の幅員が狭く、車いすが通ることが出来ない箇所が多々ある。その場合、一旦車道に出ることとなるが、今度は車道と歩道の段差の為、歩道に戻る事が出来ず、大変危険であり歩道幅員、段差ともども改善していただきたい。
- ・知的障害者にとって、長距離に渡る移動において難があり、車を利用することが多い為、駐車場の身障者マークのある区画に知的障害者も駐車できるようにしてほしい。またバリアフリーはハードよりもソフト面が重要であり、周囲の理解が必須である。
- ・国で行っているバリアフリー教室について、知的障害者の理解が深まるような内容も盛り込んで頂けるとありがたい。
- ・駅ホームへの内方線付き点字ブロック設置など、山梨県には無人駅も多く早急の対策が必要かと思う。内方線付き点字ブロックの普及を求める。
- ・聴覚障害者にとって電車内の次の駅を表示するパネルにずっと駅名が表示されたままだと、どこを指しているのか混乱することがある。パネル案内と実際の運行状況にタイムラグが生じているのか分からないが、もう少し的確な表示をしてほしい。
- ・エレベーターの故障でドアが開かなくなってしまったとき、聴覚障害者は電話通報できないため、メールを利用した通報を案内されるが、実際閉じ込められてしまった状況でメールができるか疑問。例えばエレベーターを透明な素材で作れば、外から何が起きているか分かるし、女性にとっても安心なのではないか。
- ・知的・精神障害者、身体障害者等、障害内容は異なるが、理不尽な障害者間の補助内容の差別については是正を求む。

